

## 平成 30 年度 はなバスの見直し基準における算出結果

### 1. 収支率

◆収入の算出

$$\text{収入} = \frac{\text{利用者数}^{\ast 1} \times \text{設定運賃}}{\text{消費税}} + \text{広告費}^{\ast 2}$$

利用者によって変動する運賃（こどもの運賃等）を統一するため、設定運賃（150 円）を乗じて算出。  
 ※ 1：区間ごとに計上した値。 ※ 2：系統別の広告費を走行距離で按分し、区間ごとに算出。

◆経費の算出

- ・経費における車両減価償却費を、実際の車両の運用に準じて 10 年償却で平準化した車両減価償却費に置き換える。
- ・臨時的経費については、ルートごと及び毎年度ごとに変動するため、控除。
- ・上記により算出した経費を走行距離で按分し、区間ごとに算出。

◆目標収支率：70%

		第 1	第 2				第 3			第 4 北	第 4 南			合計
			主軸	課題 A	課題 B	計	主軸	課題	計		主軸	課題	計	
平成 29 年度	収支率	97.1%	73.3%	21.8%	73.3%	68.1%	71.1%	22.5%	53.0%	44.2%	90.2%	35.8%	76.0%	65.1%
	目標収支率：70%以上	○	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×
平成 30 年度	収支率	91.8%	78.8%	22.7%	45.4%	65.0%	70.4%	20.6%	51.9%	43.8%	90.1%	37.5%	76.4%	63.3%
	目標収支率：70%以上	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×

※精査中 ※精査中

### 2. 公共交通空白地域・不便地域に設置しているはなバスのバス停における 1 人当りの乗車回数

◆乗車回数の算出

バス停ごとの現金及び IC カードの年間利用者を区間別に集計し、対象区間の沿線人口（平成 31 年 4 月時点）で除し、算出。

◆目標乗車回数：8 回

		公共交通空白・不便地域に設置している はなバスのバス停の沿線人口（人） ①	乗車回数 （回/年） ②	沿線人口 1 人当たり 乗車回数（回/人） ② ÷ ①			直近の 傾向
		平成 30 年度	平成 30 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
第 1		17,356	132,097	7.8回	7.7回	7.6回	↓
第 2	主軸	5,095	32,922	5.9回	6.4回	6.5回	↑
	課題 A	4,240	5,307	1.0回	1.1回	1.3回	↑
	課題 B	1,067	2,100	2.3回	2.1回	2.0回	↓
第 3	主軸	11,899	112,288	9.3回	9.1回	9.4回	↑
	課題	15,102	16,952	1.1回	1.2回	1.1回	↓
第 4 北	課題	2,461	45,254	16.7回	17.5回	18.4回	↑
第 4 南	主軸	10,075	105,035	9.3回	9.7回	10.4回	↑
	課題	4,465	14,017	3.0回	2.8回	3.1回	↑

※平成 28 年度・平成 29 年度の公共交通空白・不便地域に設置しているはなバスのバス停の沿線人口及び乗車回数については、報告書を参照。

### 3. 収支率と乗車回数との関係

資料1-1

